



大成ロテック中四国支社は、山口県防府市で施工中の人工芝多目的グラウンド整備工事（施工Ⅱ山陽建設工業・中司興業JV）の路盤工・舗装工に自動追尾式トータルステーション（TS）を用いたモーターグレーダーによる情報化施工を導入。5日、現地で現場見学会を開いた。写真。市職員約30人が参加し、情報

化施工のメリットや施工精度などを確認した。

見たほか、TS制御のモーターグレーダーによる敷均しをミリ単位の高精度で施工可能な情報化施工を取り入れた。

見学会では、同支社の関口実演し、仕上がり面をTS検査

同社では「熟練した技術者の確保が難しい中、省力化や省熟練化につながる。設計データ作成などの業務は女性技術者の活躍の場を広げる1つのツールにもなり得る」と期待

ク学会
テ見
口場
成現
大が

施工精度を確認

路盤・舗装工にICT

峰機械室長ら担当者が施工の概要や情報化施工の導入メリット、システムについて説明

測機で実測して精度を確認した。

今回の現場はグラウンドの